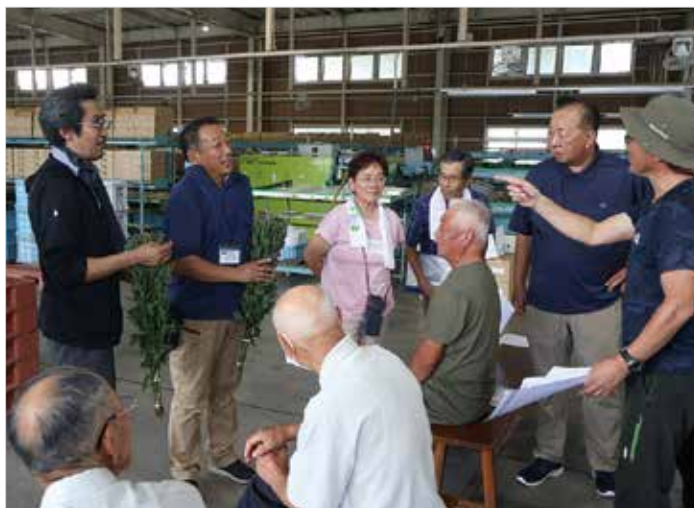


8/26

彼岸に向け 小菊目ぞろえ

JA花き部会小菊専門部

小菊出荷目ぞろえ会を管内3会場で開き、秋彼岸の需要期に向けて出荷規格や荷受け体制、栽培管理について確認しました。JA園芸課の佐々木伸職員は「適期を見計らった採花をするように」と指導し、良品質生産と出荷に向けて意識統一を図りました。



出荷された小菊を見ながら採花時期を確認する参加者

9/5

良品質出荷後半も維持へ

JAなす生産部会



立毛共励会の表彰を受けた部会員

令和7年度中間実績検討会を開きました。上半期の販売実績と今後の栽培管理や出荷時の注意点を確認し、7月に行われた立毛共励会の成績優秀者を表彰しました。千葉昭義部会長は「クレームゼロという部会の目標に向けて良品出荷に努めよう」と呼びかけました。

9/1

管内の自慢の梨味わって

JA果樹部会梨専門部



搬入された梨を選果する作業員

JA管内では梨の出荷が始まりました。本年は、6、7月の降水量が平年より大幅に少なく小玉傾向ですが、全国的な高温少雨の影響により高単価で推移しています。JAでは「幸水」「豊水」「南水」「あきづき」を中心に出荷。販売金額3264万円を目指します。

8/18

ビールフェスで野菜PR

一関市



野菜の引き取りを行う出店者

第28回全国地ビールフェスティバルin一関において、夏秋野菜のPRを行うため、料理を提供する出店事業者にキュウリやナス、トマト、ピーマン133箱を引き渡しました。

9/4

米寿のお祝いに手作り枕

JAハートフル花泉支部



佐藤正昭支部長㊤に枕を手渡す支部役員

花泉町内で米寿を迎える住民に使用してもらおうと、長寿と健康を願って支部員が手作りの枕127個を一関市社会福祉協議会花泉支部に寄贈しました。

9/4

野菜の集出荷施設を見学

川崎小学校



集出荷施設の仕組みに理解を深める児童

3年生16人は、JA東部園芸センターを見学しました。JAの野菜集出荷施設の役割や仕組み、取り扱い品目や流通などを学び、地域農業や地元農産物に関心を高めました。



一打一打に力を込めプレーする参加者

第10回年金友の会ゲートボール大会を開きました。10チーム62人が参加し、チーム一丸の連携プレーで優勝を目指しました。優勝は須川クラブ（一関）、準優勝は東山チーム、第3位が黄海長寿チーム（藤沢）、敢闘賞には萩荘チーム（一関）が輝きました。

9/8

優勝目指して熱戦を展開

米の検査を行う農産物検査員



「ひとめぼれ」「金色の風」45ト全量が1等に格付けされ、幸先の良いスタートを切りました。

9/12

令和7年産米検査始まる

令和7年産米の初検査をJA米集出荷センター輝で行いました。検査に先立ち初検査式を行い、令和7年産米の豊作と買い入れ作業の安全を祈願しました。検査した「ひとめぼれ」「金色の風」



稲刈りを体験する児童

9/12

新米おいしくできたかな 厳美小学校（一関）

5年生15人は、佐藤克徳さん（一関）と地元農家の指導で、稲刈り体験をしました。作業終了後には、新米のおにぎりと芋の子汁を味わい、収穫を喜びました。



「金色の風」を使ったコースを堪能する生徒

9/4

金色の風フルコース堪能 千厩高等学校

生産技術科3年生17人は「金色の風」出前授業を受けました。同校のテブルマナー講座に合わせて開催。金色の風や地元産の野菜を使用した料理を堪能しました。



適正な検査業務遂行を宣誓する検査員

9/11

適正な検査業務遂行誓う

令和7年度農産物検査員出発式をJA米集出荷センター輝で行いました。45人が検査員として任命を受け、公平かつ誠実に検査業務を行うことを誓いました。



刈り取った稲を運ぶ児童

9/12

地元農家と稲刈り楽しむ 黄海小学校（藤沢）

5年生9人は、学習田「ぴかぴか田んぼ」で、地元の高木クラブや耕作支援隊の指導を受けながら、鎌を使って1株1株丁寧に刈り取り、ホニオに掛けました。



保護者のサポートで稲刈りに取り組む児童

9/16

親子で協力して刈り取り 東山小学校

5年生21人は、稲刈り体験学習を行いました。親子レクとして行い、児童の保護者も参加。親子で協力しながら、「こがねもち」を鎌で刈り取り、ほしに掛けました。



刈った稲を協力して束ねる児童

9/16

協力して稲刈り取り組む 滝沢小学校（一関）

5年生18人は、JA一関青年部真滝支部の指導で稲刈りを行いました。5月に植えた「ひとめぼれ」を手作業で刈り取り、束にしてホニオに掛けました。